

理事長挨拶

長 尾 真

独立行政法人通信総合研究所（CRL）と認可法人通信・放送機構（TAO）は平成16年4月1日に統合され、新たな独立行政法人情報通信研究機構（NICT：National Institute of Information and Communications Technology）が発足いたしました。

NICTは、21世紀の高度情報通信社会を支える情報通信技術の研究開発を基礎から応用まで一貫した統合的な視点で行い、併せて情報通信分野の事業支援等を総合的に行うために設立されたものです。すなわち情報通信の基礎的・基盤的研究から各種の応用研究を行ってきたCRLと、情報通信技術の実用化に向けた産学と連携して実施する実施研究開発や大学や民間が行う研究開発に対する各種支援、さらには通信・放送事業に対する各種支援等を行ってきたTAOを統合し、全体を一貫した考え方で運営することによって、日本の通信分野の更なる発展を目指します。

21世紀は知の世紀と言われます。知は創造され蓄積されるだけでなく、活用されて初めてその真価を発揮します。これから生み出される新しい情報通信の技術は、知の創造、蓄積、そしてその活用について、これまでにない手段を我々人類に与えてくれる可能性を秘めています。その可能性を一つ一つ国民に分かりやすく解き明かしていく、そのような役割を情報通信研究機構は担っていきたいと考えています。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。